

(仮称) さいたま市農業交流施設整備等事業に係るサウンディング型市場調査

説明会兼現地見学会 質疑応答結果及び補足説明

日 時：令和3年11月22日（月）10：00～

場 所：農業者トレーニングセンター 会議室

質疑応答の結果を以下に示す。

No.	質問内容	回答
1	事業においてどのような利用者層を想定しているのか。	国道463号線沿いに立地しており、さいたま市内の他埼玉県南部、都心部からの利用が見込まれると想定している。現在も大崎公園を中心として家族連れの利用が多いことから、引き続きそのような来訪者属性（ファミリー層重視）が期待できると考えている。
2	近隣に競合するような施設はあるか。	埼玉県で（芝川）第一調整池を整備中、さいたま市ではJR武蔵野線を挟んで南側のエリアで見沼通船掘という8ha程度の公園（の再整備）を計画している。

補足説明について以下に示す。

No.	補足箇所	内容
1	基礎資料 第1編 12. 既存施設の状況について	農業者トレーニングセンターの耐震診断結果は、耐震性が低く、様々な理由により補強を行うことは妥当ではないということで補強案は示されていない。その他の解体予定の建築物については、公共施設マネジメントにおける耐震診断から実施していない。これらの活用を検討・実施する場合に係る費用については、民間投資とする。
2	基礎資料 第2編 3.2 制約条件 3.2.2 大崎公園について制約条件の追加 (R3.12.27更新)	指定緊急避難場所及び災害廃棄物仮置き場（候補地）等に指定されていることから、災害時に活用する際は、既存の使用許可がある場合は取消され優先的かつ速やかに市の管理に移行する。 (さいたま市地域防災計画 風水害対策編 第1部 第14章 第1節 第2及び震災対策編 第1部 第12章 第1節 第2の災害廃棄物の処理、さいたま市災害廃棄物処理計画 第3章4の仮置き場 による。)

3	<p>基礎資料 第2編 3.2 制約条件 3.2.4 公園予定地の追加 (R3.12.27更新)</p>	<p>災害廃棄物仮置き場（候補地）に指定されていることから、災害時に活用する際は、既存の使用許可がある場合は取消され優先的かつ速やかに市の管理に移行する。</p> <p>（さいたま市地域防災計画 風水害対策編 第1部 第14章 第1節 第2及び震災対策編 第1部 第12章 第1節 第2の災害廃棄物の処理、さいたま市災害廃棄物処理計画 第3章4の仮置き場 による。）</p>